



# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2017~2018

例会日/毎火曜日  
例会場/津都ホテル 津市大門7-15  
事務所/津市大門10-7  
ピッチャーズビル2階  
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/山田 俊郎  
幹事/西井 健之  
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp  
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

## 第2522回例会 2018年5月22日(火) 天候 晴

—— 5月は青少年奉仕月間 ——



### 例会予定

- 5月27日(日) ゴミゼロ例会  
8:00~ 津阿漕浦海岸清掃  
9:00~ 伊勢湾海洋スポーツセンター
- 6月5日(火) 外来卓話  
(公財)三重県文化振興事業団  
副理事長兼事務局長 山口千代巳様
- 6月12日(火) 宮上史郎ガバナー補佐来訪  
外来卓話 中須左官店(裏千家)  
代表取締役 中須 仁隆様
- 6月19日(火) 会員卓話 小川 恭平会員

### 進行担当

[伊藤(仁) 副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

### 来訪者

[山田会長]

ゲストスピーカー 村松 英子様(女優・随筆家)  
村松 えり様(女優・翻訳家)  
津 R C 小柴 眞治君  
久居 R C 青木 謙順君

### 出席報告

[吉村委員長]

5月22日 出席率 45名中 38名 84.44%  
5月8日 修正出席率 45名中 42名 93.33%

### ニコBOX

[中山委員長]

青木 謙順君 本日は素晴らしい機会にお招き、  
(久居RC) 感謝しております。  
小柴 眞治君 メークアップにまいりました。よろ  
(津RC) しくお願いいたします。  
山田 俊郎君 本日の外来卓話 村松英子様、村松  
えり様よろしく申し上げます。  
西井 健之君 女優 村松英子様、えり様、本日の  
卓話楽しみにしております。

### 会長報告

[山田会長]

◆「クレーム対応について」  
一番多いクレームは、「電話が繋がらないこと」だ  
とされています。そうならない為にも、管理監督  
者は平日頃からあらゆるケースを想定して、マニ  
ユアル等の準備をしておく必要がありますが、想定外  
のことが起こってしまうのも世の常であります。そ  
れでは、咄嗟の場合にどのような対応をしたらいい  
のか、ということになります。ポイントになる事  
が幾つかあります。まず第一に対応者が自分個人  
が怒られているのではないと自覚を持つ事。最初は  
かなり強い口調でまくし立てられる事も多く、ひる  
んでしまいがちですが、相手は組織やサービスに対  
して苦情を言っていますので、この自覚を持つ事で、  
だいぶ落ち着きます。次に相手の話を良く聴く事、  
話を十分聴いてくれる事が相手に伝われば、納まっ  
てくる。最後に感謝の気持ちを伝える事です。「本  
日は貴重なご意見を有難うございました」と。

### 幹事報告

[西井幹事]

- ★新会員入会の件
- ★6月5日(火) 例会終了後、臨時総会開催の件

### 委員会報告《社会奉仕委員会》

[庄司委員長]

- ゴミゼロ例会について

小川 恭平君 村松英子先生の卓話楽しみに拝聴  
いたします。  
村木 正二君 村松英子様、えり様、本日卓話で  
大変お世話になります。/  
栗田 明君 村松英子様、えり様、御遠方御多  
忙の中よくお越し頂きました。よろ  
しくお願い申し上げます。  
今野信太郎君 村松英子様、えり様をお迎えして。  
本日はよろしくお願い致します。

薄井 美弥君 村松英子様、えり様、本日は遠路大変ありがとうございます。楽しみに拝聴させていただきます。

社会奉仕委員会（奥田君、吹戸君、庄司君）

澤田会員、林会員、日比会員、下々草刈り大変ありがとうございました。薄井会員もご対応しようとして下さりありがとうございました。おかげさまでもちまして、下草刈りが不要となりました。皆様の厚意と友情に心より感謝します。

女優 村松英子様・えり様をお迎えして、

何川 高君、刀根大士君、奥田邦雄君、土田研輔君、吉村哲夫君、伊藤歳恭君、吹戸研一君、川喜田久君、松田英明君、千原一典君、山本哲也君、庄司正樹君、伊藤 仁君、羽根昌江君、中山 敏君、宮崎吉史君、樋口直人君、伊藤孝行君、中尾哲也君、今西孝彰君、竹内敏明君、小泉智英君、澤田勝志君、岡部宏司君、家田吉成君、岩井純朗君、佐々木喬君、飯田 聡君、長谷川顕一君

## 外来卓話

### 三島先生の演出



女優・随筆家 村松 英子 様  
女優・翻訳家 村松 えり 様

短時間に三島文学なり、三島戯曲なりを語ることは、不可能です。今回は、演劇上の恩師、三島先生に唯一の弟子としてヒロイン女優として育てられた経験から、演劇の特徴の一つをお話します。

「僕は戯曲を、まず最後の幕切れのせりふから書く。その上で、最初からはじめる」と、自らいわれたように、幕切れのせりふがテーマを背負うこととなります。

同時にそこで生じる「どんでん返し」。幕切れのせりふによる「どんでん返し」が、三島戯曲の特徴の一つです。

例として。自ら代表作といわれる『サド侯爵夫人』。ヒロインの夫人ルネを「英子にぴったりだから、数年後に演って貰う。いまは若すぎるから妹のアンヌから始めよう」といわれ、四年後にルネを演じました。「サディズム」という名詞ができたほどの社会スキャンダルを起こした侯爵は、牢獄に入れられますが、革命によって釈放される。夫人ルネは、終始夫に忠実で、夫が獄中にある時は差し入れに通った。しかし釈放されたサド侯爵が、ルネが身を寄せた実家を訪ねてくると、召使に命じる。「お帰ししておくれ。さうして、こう申し上げて、『侯爵夫人はもう決してお目にかかることはありませんまい』と」その後ルネは修道院に入るのです。これは史実通りで、三島先生の興味をひいたそうです。

先生が、あの壮絶な死をとげられる直前に、

上演を決めたのが、『薔薇と海賊』です。

私が演じたヒロインは、流行童話作



家で、無垢で純粋な夢の世界を守るために、生活を犠牲にして、独り孤独に耐えている。そこへ、彼女の童話の主人公は自分だと、信じている「白痴」の青年がとびこんでくる。二人の間には、プラトニックな恋が生まれます。二人は、彼女の家にいる俗物（海賊）たちを追い出して、童話の登場人物たちに囲まれて、夢のような結婚式をあげます。その席で、青年が「僕たち、夢を見てゐるんじゃないだらうね」と問いかける。「大丈夫よ。私に任せておきなさい。たとへあなたの見てゐるものが夢だとしても」「うん」「(キッパリと)私は決して夢なんぞ見たことはありません」(幕)

地方を含めて、この公演が全て終わった二日後に、先生は、熱い死をとげられました。

その時、私は先生が、この時にこの芝居の上演を決められた理由がわかったのです。

「決して夢なんぞ見たことはない」は、先生の、最後のせりふであり、幕切れの「どんでん返し」の、演出だったのです。

先生は自身の人生の幕切れも、冷徹な目で演出されたのでした。

### 村松英子様プロフィール

慶應義塾大学大学院英文学科修了。文学座を経て三島由紀夫氏にヒロイン女優として育てられ、氏のほぼ全作品を主演。第一回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。氏の没後、演劇母体サロン劇場を主宰。テレビ、ラジオ、映画、商業演劇にも多数出演。夫の病没後、二児のために数年間演劇を控えていた時期をへて、現在は舞台を中心に活躍中。倉敷市劇場「芸文館」初代館長、鳥取女子短期大学英文科教授、北海学園大学、母校慶應義塾大学特別講師などを歴任。故 村松 剛氏（仏文学者・評論家）は実兄。

主な著書に、詩集『ひとつの魔法』『一角獣』、随筆集『天使とのたたかい』『愛はわが家から』『貴女への贈りもの』『こころの花』『三島由紀夫追想のうた』などのほか、翻訳も多数。

